

### 1. 令和2年度新学術評議員の推薦について

下記の本学会学術評議員資格に照らし合わせて、学術評議員として適当と思われる会員がありましたら、別紙の書式を用いてその候補者の所属機関、職名、略歴並びに業績目録をそえ、推薦者2名連署(ともに推薦時に学術評議員であること)のうえ、令和2年1月31日(消印有効)までに学会事務局宛書留等にてお送り下さい(申請書/推薦書はホームページよりダウンロードして下さい)。

各位よりご推薦のありました候補者に付きましては、資格審査委員会による審査を経て、理事会にて学術評議員として適当であるかを審議し、認められた候補者を春期総会時に開催される学会総会にて承認を受けることとなります。

参照 HP:

<http://pathology.or.jp/news/whats/R2gakuhyo.html>

#### 学術評議員資格

病理研究歴満7年以上、会員歴5年以上の会員で以下の条件の一つを満たすもの。

初期臨床研修期間は含めることができませんので注意してください。

- 病理学(学際分野を含む)に関する原著論文(英語論文)3編以上で、少なくとも1編の筆頭著者である者
- 病理専門医あるいは口腔病理専門医資格取得者で論文発表の筆頭著者1編以上である者
- 入会歴5年以上を満たさないが、傑出した業績を上げていると資格審査委員会で認められた者

- 注: 1) 論文は査読のある雑誌に掲載されていること。  
2) 病理専門医あるいは口腔病理専門医の論文は症例報告を含めることができる。  
3) 論文については、5編以内の別刷各1部(コピー可)を提出すること。

#### 提出書類

- 学術評議員申請書/推薦書式(上記参照HPよりダウンロードして下さい)

※参照: 専門領域キーワード一覧表(PDF形式)

(上記参照HPよりダウンロードして下さい)

※学術評議員である推薦者2名の直筆署名があること。

※功労会員・名誉会員・一般会員は推薦者になれません。

- 代表的な自著論文の別刷りのコピー 5編以内。

※上記ABCの資格のうち、候補者が必要とされる業績をみたしていることが証明できる分を提出すること。

#### 受付期限

令和2年1月31日(金)消印有効

#### 提出先・問合せ先

〒113-0034 東京都文京区湯島1-2-5 聖堂前ビル7階  
一般社団法人日本病理学会 学術評議員推薦受付係  
E-mail: jsp-admin@umin.ac.jp TEL: 03-6206-9070

#### 書類受け取りに際して

- 簡易書留もしくはそれに準ずる形でお送り下さい。
- 書類の受領確認連絡をメールにて順次差し上げますので、申請書には会員システムに登録しているメールアドレスを必ずご記入下さい(会員システムに登録しているメールアドレスを普段使っていない場合は、使っているメールアドレスに更新してください。誤送信を防ぐ為、はっきりと読みやすい字でお願いいたします)。なお、発送後10日を過ぎても受領連絡の無い場合は、お手数ですが事務局までご連絡下さい。メールアドレス未記入の場合、受領確認のご連絡は致しかねますので予めご了承ください。

#### 参考

学術評議員関連規定(抜粋)

[http://pathology.or.jp/news/pdf/R2gakuhyo\\_sankou.pdf](http://pathology.or.jp/news/pdf/R2gakuhyo_sankou.pdf)

#### その他

- 学術評議員のご申請、ご推薦に際して  
学術評議員は、「本学会の教育、研究、病理診断に関わる事項について評議するとともに、定款ならびにここに定める資格をもって、病理学の発展に貢献する責務を有する。」ものとなっています。こちらの主旨を充分ご理解の上、ご申請、ご推薦をお願いいたします。
- 学術評議員のキーワード登録について  
上記1の主旨に従い、学術評議員には、専門分野・キーワードを学会に登録いただくことになっています。これらのデータは会員専用ページに掲載され、学術集会での座長選出や“Pathology International”の査読依頼など、学術交流のさらなる活発化のために役立てられています。

### 3. 学術評議員年会費について

平成 26 年度より、一般会員と同額（13,000 円）に値下げとなりました。尚、学会では、年会費の口座自動振り替えのご利用を推進しています。まだご利用でない方は是非ご検討下さい。

### 4. 会員システムについて

- ① 平成 29 年 7 月より新たに会員システムが稼働しております。各自ログインの上、登録内容の確認をお願いいたします。

<https://member.pathology.or.jp/product/Cmn/WapCmn01P01.aspx>

- ② 平成 31 年度より学術評議員の更新（2 年ごと）が開始となりました。その際は恐れ入りますがキーワードの新規登録をお願いいたします。（学術評議員申請の際に登録いただいたキーワードは反映されておられません）。
- ③ 令和 2 年度学術評議員推薦が承認された会員におかれましては、初回の更新手続きが令和 4 年度となります。2 回目以降の更新の際には、登録されたキーワードがデフォルトで表示されますので、確認・変更のみとなります。
- ④ また本学会では「UMIN」（大学病院医療情報ネットワーク）のシステムにて、英文誌の閲覧や、ML の配信、病情報ネットワークの利用などを行っています。学術評議員の推薦を受けられる際は今一度ご自身の ID とパスワードをご確認下さい。

## 2. 第 66 回（令和 2 年/2020 年）日本病理学会秋期特別総会 学術研究賞演説（A 演説）、症例研究賞演説（B 演説）について（公募のお知らせ）

令和 2 年/2020 年秋開催予定の第 66 回日本病理学会秋期特別総会（浜松市）における学術研究賞演説（A 演説）と症例研究賞演説（B 演説）の募集をいたします。

これら演説の応募内容は、以下の要件を満たすことといたします。

参照 HP:

<http://pathology.or.jp/news/gakujyutu/2020AB.html>

学術研究賞演説（A 演説）

- (1) 優れており、かつ蓄積された研究であること。
- (2) 原則として日本国内で行われた研究であること。
- (3) 内容に関する責任の明確な研究者による発表で、内容は共同研究によるものであっても発表者自身はそれを代表するものであること、従って単独名が望ましい。

症例研究賞演説（B 演説）

- (1) 症例の蓄積による解析及び病理診断・病態解明に寄与する研究であること。

学術研究賞演説（A 演説）、症例研究賞演説（B 演説）担当者として講演することを希望する会員は、下記の要領

でご応募ください。

記

学術研究賞演説（A 演説）

- (1) 応募資格：日本病理学会員でありかつ学術評議員による推薦を受けた者。ただし、応募者自身が学術評議員である場合、自薦で可とする。
- (2) 提出書類：（上記参照 HP よりダウンロードしてください）

※昨年度より、応募書類は以下を PDF 化した電子媒体（ひとつのファイルにまとめたもの）にて提出していただくことになりました。

- ① 日本病理学会ホームページよりダウンロードした所定の書式に、応募者名、演題名、選考用抄録（900 字以内）などを記載し、推薦学術評議員の自署・捺印を受けたもの。
- ② 講演内容に直接関係のある自著論文 20 編以内の一覧。
- ③ 代表的な自著論文 5 編以内の別刷。

上記 ①～③ の書類を、順番に一つの PDF ファイルにまとめてお送り下さい。

(3) 提出先と提出方法:

提出先：日本病理学会事務局 [jsp-admin@umin.ac.jp](mailto:jsp-admin@umin.ac.jp)

- ① 応募書類送付の前に、応募申請の E-mail をお送り下さい。
  - i) E-mail の件名として「A 演説応募申請」とし、その後ろにご自身の会員番号も記載して下さい。
  - ii) 応募書類送付の方法（下に示すア～オのいずれか）と 1. 送信予定日時 2. 氏名 3. 所属（教室名まで正式名称を） 4. 演題名 を記載下さい。
    - ア) メール添付 ただし 5 MB まで
    - イ) UMIN ファイル交換システム  
<https://www.umin.ac.jp/upload/>  
病理学会事務局 ID: jsp-admin
    - ウ) 民間の大容量ファイル転送サービス（「データ便」等）
    - エ) USB, CD-ROM 等の郵送送付
    - オ) その他の方法（具体的に記載して下さい。）

② ① の申請メール送信後、応募書類（すべての書類をひとつの PDF ファイルにまとめたもの）を PDF 電子媒体として申請した方法にて送付してください。

- i) 件名・表題等は「A 演説応募書類送付」として、その後ろにご自身の会員番号を記載して下さい。
- ii) ファイル受領から「業務日」3 日以内に受領メールを返信いたします。受領のメールが届かない場合は、すみやかに事務局宛にお問い合わせ下さい。

- iii) 各種連絡や審査用資料の作成については、会員システム登録の情報を元に行われます。事前に登録内容の確認、修正をお願いします。

(4) 募集締切：令和2年1月31日（金）23:59 必着

#### 症例研究賞演説（B 演説）

- (1) 応募資格：学術研究賞演説（A 演説）に同じ。  
(2) 提出書類：（上記参照 HP よりダウンロードしてください）

※昨年度より、応募書類は以下を PDF 化した電子媒体にて提出していただくことになりました。

- ① 日本病理学会ホームページよりダウンロードした所定の書式に、応募者名、演題名、選考用抄録（900 字以内）などを記載し、推薦学術評議員の自署・捺印を受けたもの。  
② 講演内容に関係のある自著論文の一覧（10 編以内）。  
③ 代表的な自著論文 3 編以内の別刷。

上記①～③の書類を、順番にひとつの PDF ファイルにまとめてお送り下さい。

- (3) 提出先と提出方法：上に記した学術研究賞演説（A 演説）の“(3) 提出先と提出方法”に同じ。

※上記「A 演説」の文言を「B 演説」に読み替えの上、ご対応下さい。

- (4) 募集締切：学術研究賞演説（A 演説）に同じ。

第 66 回日本病理学会秋期特別総会における学術研究賞演説（A 演説）、症例研究賞演説（B 演説）担当者は、令和 2 年 3 月の学術委員会において厳正・公明に選考し、同日の理事会での審議によって決定いたします。

本件についてご質問がありましたら、日本病理学会事務局までお問い合わせください。

日本病理学会事務局：jsp-admin@umin.ac.jp

### 3. 令和元年度学術奨励賞受賞候補者の推薦について

学術奨励賞は、病理学の基礎的研究あるいは診断業務の中で特に優れた学術的貢献を行った本学会若手会員に対して与えられる賞です。

受賞対象者は、年度末（令和 2 年 3 月 31 日）において 5 年以上の会員歴をもつ 40 歳以下の会員、あるいは学位取得後 10 年以内の会員です。学術評議員各位には、下記の要領で候補者の推薦をお願いいたします。

参照 HP：

<http://pathology.or.jp/news/whats/R01Incitement-award.html>

#### 推薦要領

1. 本年度は、数名への授与を予定しています。  
2. 提出書類：（上記参照 HP よりダウンロードしてください）

※下記（1）と（2）が一式になっています

※昨年度より、応募書類は以下を PDF 化した電子媒体（ひとつのファイルにまとめたもの）にて提出していただくことになりました。

- (1) 「日本病理学会学術奨励賞申請書」

受賞候補者となる本人が上記よりダウンロードした書式に必要事項を記入、押印したものを PDF 化して下さい。

- (2) 本課題に関する論文のうち、代表論文 3 編以内別刷り。

- (3) 「日本病理学会学術奨励賞受賞候補者推薦書」

推薦者が上記よりダウンロードした書式に必要事項を記入、押印したものを PDF 化して下さい。

上記（1）～（3）の書類を、順番にひとつの PDF ファイルにまとめてお送り下さい。

#### 3. 提出先と提出方法：

提出先：日本病理学会事務局 jsp-admin@umin.ac.jp

申請は受賞候補者となる本人から書類をお送り下さい。

- ① 応募書類送付の前に、応募申請の E-mail をお送り下さい。

- i) E-mail の件名として「学術奨励賞応募申請」とし、その後ろにご自身の会員番号も記載して下さい。  
ii) 応募書類送付の方法（下に示すア～オのいずれか）と 1. 送信予定日時 2. 氏名 3. 所属（教室名まで正式名称を）4. 対象課題もしくは功績名 を記載下さい。

ア) メール添付 ただし 5 MB まで

イ) UMIN ファイル交換システム  
<https://www.umin.ac.jp/upload/>  
病理学会事務局 ID：jsp-admin

ウ) 民間の大容量ファイル転送サービス（「データ便」等）

エ) USB、CD-ROM 等の郵送送付

オ) その他の方法（具体的に記載して下さい。）

- ② ①の申請メール送信後、応募書類（すべての書類をひとつの PDF ファイルにまとめたもの）を PDF 電子媒体として申請した方法にて送付してください。

- i) 件名・表題等は「学術奨励賞応募書類送付」として、その後ろにご自身の会員番号を記載して下さい。

- ii) ファイル受領から「業務日」3 日以内に受領メールを返信いたします。受領のメールが届かない場合は、すみやかに事務局宛にお問い合わせ下さい。

- iii) 各種連絡や審査用資料の作成については、会員システム登録の情報を元に行われます。事前に登録内容の確認、修正をお願いします。

4. 募集締切：令和 2 年 1 月 31 日（金）23:59 必着

5. 学術奨励賞受賞者（受賞者）には、賞状と記念品が贈呈されます。

6. 賞の授与は、次年度の総会において理事長が行いま



す。

7. 受賞者には、第109回総会（令和2/2020年4月）で開催の英語セッション「学術奨励賞受賞講演」において英語で口演していただきます。
8. 上記7の優秀者は令和3/2021年度英国病理学会派遣候補者（本学会より渡航費補助金15万円支給）となります。
9. なお、本件について、ご質問などがありましたら、本学会事務局までお問い合わせください。  
日本病理学会事務局：jsp-admin@umin.ac.jp

#### 4. 日本病理学会100周年記念病理学研究新人賞の公募について

2011年（平成23年）に日本病理学会は創立100周年を迎えました。日本病理学会100周年記念事業実行委員会では、病理学の医学・医療における位置づけを再確認し、病理学会のあるべき姿と進むべき方向を、より多くの方々と語り合う機会として、創立100周年記念事業を行ってまいりました。さらに、これらの事業と東日本大震災への義援金に加えて、日本病理学会の発展に資するプロジェクトを募集し、2020年までの10年間にわたって実施することと致しました。「日本病理学会100周年記念病理学研究新人賞」は、「病理医・研究医の育成とリクルート委員会（旧・若手医師確保に関する委員会）」が応募し、採用された公募プロジェクトです。今年度が9年度目にあたります。

##### 本プロジェクトの概要：

将来的に日本の病理学がバランスよく発展していくためには、臨床側面である病理診断だけでなく、その基盤となる病理学研究も強力に推進する必要がある。ところが昨今の若手医師の研究指向者の激減は憂慮すべき問題である。この問題を少しでも解決するべく、2011年から10年間に渡り、病理学研究新人賞を設定し、若手医師の大学院生を鼓舞することとした。選考は書面による1次審査（8名以内）と春期の病理学会総会時において口頭発表による2次審査を行い、今年度は3名を選出する。春期の日本病理学会総会で表彰し、賞金10万円を付与する。

##### 参照HP：

<http://pathology.or.jp/jigyou/100syuunen/H31rookie-award.html>

下記の要領で候補者を公募します。

##### 対象：

以下のすべての要件を満たす者を本賞応募の対象者とする。

- 1) 日本の大学の医学部・歯学部大学院病理学教室（あるいはそれに相当する教室）博士課程に所属する学生であること（応募時）。
- 2) 応募翌年度の4月1日において、33才以下であること。（1月31日メ切）

（令和元年度対象者：昭和61年4月2日以降生まれ）

- 3) 日本の医師免許あるいは歯科医師免許を有する者。ただし、日本の大学のMD/PhDコースの学生で博士課程に所属する者は応募可能とする。
- 4) 1年間以上、日本病理学会の会員である者。
- 5) ただし、出産・育児休暇（休学を含む）を医学部・歯学部入学以降に取っていた場合、大学・病院・指導教官（ただし、日本病理学会学術評議員に限る）などによる証明書（任意の形式）を提出することにより、同期間（最大2年間まで）の年齢制限の延長を認めることとする。

募集締切：令和2年1月31日（金）23:59必着

##### 提出書類：

\*今年度より、応募書類は以下をPDF化した電子媒体（ひとつのファイルにまとめたもの）にて提出していただくことになりました。

すべてA4の大きさのPDFで提出のこと。

- 1) 履歴書（高校卒業以降、生年月日・連絡先を含めること）
- 2) 業績録（著者名をすべて記載し、代表論文3編までに関して、要旨を含む第1ページのコピー1枚ずつを提出）
- 3) 本人自身の研究業績の要約（1枚、必ずタイトルをつけること）
- 4) 所属講座の教授（あるいは指導教官）の推薦書（1枚）
- 5) 大学院在籍証明書（コピー可）
- 6) 医師免許証のコピー（MD/PhDコースの学生は不要）
- 7) 受賞した場合、受賞後2年以内に本学会学会誌 Pathology International へ投稿を行うという誓約書（形式自由；原著あるいは総説で共著可）。
- 8) 指導教官（ただし、日本病理学会学術評議員に限る）などによる出産・育児休暇（休学を含む）の証明書（任意の形式；該当者のみ）

※尚、受賞後、応募時提出内容に虚偽があることが判明した場合、後日審議の上、受賞の取り消しならびに賞金の返還を求めることがある。

##### 提出先：

日本病理学会事務局 jsp-admin@umin.ac.jp

- (1) 応募書類送付の前に、応募申請のE-mailをお送り下さい。

- ① E-mailの件名として「病理学研究新人賞応募申請」とし、その後ろにご自身の会員番号も記載して下さい。

- ② 応募書類送付の方法（下に示すア～オのいずれか）と1. 送信予定日時 2. 氏名 3. 所属（教室名まで正式名称を） 4. 研究業績の要約のタイトルを記載下さい。

ア) メール添付 ただし5MBまで

- イ) UMIN ファイル交換システム  
<https://www.umin.ac.jp/upload/>  
 病理学会事務局 ID: jsp-admin
- ウ) 民間の大容量ファイル転送サービス  
 (「データ便」等)
- エ) USB, CD-ROM 等の郵送送付
- オ) その他の方法 (具体的に記載して下さい。)

- (2) 上記 (1) の申請メール送信後、応募書類 (すべての書類をひとつの PDF ファイルにまとめたもの) を PDF 電子媒体として申請した方法にて送付してください。
- ① 件名・表題等は「病理学研究新人賞応募書類送付」として、その後ろにご自身の会員番号を記載して下さい。
  - ② ファイル受領から「業務日」3 日以内に受領メールを返信いたします。受領のメールが届かない場合は、すみやかに事務局宛にお問い合わせ下さい。
  - ③ 各種連絡や審査用資料の作成については、会員システム登録の情報を元に行われます。事前に登録内容の確認、修正をお願いします。

#### 選考予定:

1 次審査の結果は、令和 2 年 2 月末日までにメールで連絡する。今年度の 2 次審査は、令和 2 年 4 月 16 日 (木曜日) 午後第 109 回日本病理学会総会 (福岡市) において実施する (発表 10 分、質疑 5 分の予定)。2 次審査は公開とし、そのプログラムはウェブで告知する。なお、2 次審査参加のための交通費・宿泊費ならびに総会参加費は各自の負担とする。

### 5. 第 6 回 (2020 年度) ハンガリー病理解剖トレーニングコース参加者募集

近年、日本を含む世界各国で病理解剖数が減少傾向にあり、特に若手病理医が国内で十分な解剖経験を積むことが困難な状況にあります。一方、ハンガリーでは現在も多数の病理解剖が行われています。そこで日本病理学会では、ハンガリー最大の医科大学である Semmelweis 大学と提携し、日本の病理医がハンガリーで短期集中的に病理解剖の経験を積むことができるトレーニングコースを創設しました。

このコースでは、指導教官の下、参加者自らが病理解剖を行い、臓器観察後臨床病理相関をつけ、報告書にまとめるまでの作業を行います。短期間にこれら業務を繰り返すことによって、所見の取り方、病態の理解、報告書作成能力の修得、向上が期待されます。また国際交流としても貴重な経験を得ることができます。

本コースは 2014 年に試行されたのち、2015 年から 2019 年まで毎年夏に 1 回、計 5 回実施され、のべ 22 名が参加し充実した成果をあげることができました。そこで第 6 回

となる 2020 年度は以下の要領でコース参加者を募集します。奮ってご応募ください

参照 HP:

<http://pathology.or.jp/news/whats/hungary-191120.html>

#### 募集要項

- 1) 実施期間
  - ①事前自習コース: ~ 2020 年 5 月 29 日 (金)
  - ②実地実習コース: 2020 年 7 月 5 日 (日)~7 月 11 日 (土)  
 (①と②の両方を受講いただきます)
- 2) 場所  
 Semmelweis 大学第二病理学教室 (ハンガリー プダペスト)
- 3) コース責任者  
 Glasz Tibor (Semmelweis 大学第二病理学教室 准教授)
- 4) コース内容
  - ① 事前自習コース: 配布資料を熟読し、病理解剖に必要な英語用語、英文解剖報告書作成要領を習得する。自験例 1 例を作成要領に沿って作成し、5 月 29 日までに日本病理学会事務局へ提出する。  
 注) コース初日から病理解剖が行われるため英文での病理解剖レポート作成を事前学習しておく必要があります。配付資料 (用語集、過去の校閲済み英文報告書例が含まれます) を参考に各自が過去に執刀した任意の病理解剖一症例につき、作成要領に沿って英文での病理解剖レポートを作成し提出して下さい。レポート提出以外の事前学習は各自に委ねます。
  - ② 実地実習コース: Semmelweis 大学第二病理学教室のスタッフの指導の下で実際に病理解剖を行い、解剖報告書 (英語) を作成する。月曜午前のオリエンテーション、病理解剖講義と説明 (剖検手順、観察、レポート作成要領等) に引き続き、月曜午後から金曜午後までに合計 9 体の病理解剖を参加者自ら実施する。土曜日に修了証書が授与される。
- 5) 応募資格  
 日本病理学会会員で、病理解剖を集中して学びたい医師及び歯科医師。  
 病理専門医あるいは死体解剖資格の有無は問わないが、日本での病理解剖の経験が、10-20 体程度あることが望ましい。
- 6) 費用  
 選考の結果参加が確定した者は、コース受講費用として一人 45 万円を 5 月 20 日までに日本病理学会へ支払うこと。  
 注 1) なおこの金額には、現地への渡航費及び滞在費 (20-30 万円程度の見込み) は含まれていないことにご注意ください。コース受講費用、渡航費、滞在費は自己負担 (可能であれば所属機関の負担) となります。  
 注 2) キャンセルする場合はコース開始日から起算し 10 週間前 (2020 年 4 月 26 日) までに病理学会

事務局へ連絡すること。

注3) 2020年4月26日を過ぎてコースへの参加をキャンセルする場合は、理由の如何によらず、コース受講費用の全額を払う必要がある。

7) 募集人数

4名

8) 応募期限

2020年1月31日(金)必着

9) 応募方法

申込用紙(別紙)を病理学会ホームページよりダウンロードし、必要事項を記入の上、日本病理学会事務局(jsp-admin@umin.ac.jp)までメールすること。

10) 選考

日本病理学会海外研修委員会で選考する。なお、応募者多数の場合は、病理専門医試験受験前の方を優先することがある。

選考結果は2020年4月末までに申込者本人へ通知する。

11) 参加者の提出書類

選考の結果、コースに参加することが確定した者は、別途連絡する期日までに下記書類を Semmelweis 大学第二病理学教室へ提出すること。

- (a) パスポート(顔写真のあるページ)の写し
- (b) 大学及び大学院(博士号を取得している場合)の卒業証明書(英文)
- (c) 医師(歯科医師)免許証(和文)の写し
- (d) 参加者が医師免許を有することを証明する文書(英文)(書式自由)
- (e) 参加者の予防接種歴の有無と抗体価の証明書(英文)(書式自由)

(d)及び(e)には所属する部署の責任者(教授や部長等)のサインが必要である。なお、(c)の代わりに厚生労働省の発行する英文の医師または歯科医師の免許証を提出する場合は、(d)は不要である。(e)については参加者の所属する医療機関で診療にあたり必要とされている予防接種の項目(麻疹やHBV等)について記載すること。

12) 申込後のキャンセルについて

申込後、コースへの参加が困難になった場合は日本病理学会事務局へ速やかに連絡すること。但し選考を経て受講が正式に決定した後に参加を辞退する場合、他の参加予定者にも影響が出る場合があるので、選考終了後の参加辞退はできる限り避けること。コース開始日から起算し10週間前(2020年4月26日)を過ぎてコースへの参加をキャンセルする場合は、理由の如何によらず、コース受講費用の全額を払う必要がある。

13) その他

コース修了者には Semmelweis 大学より受講証が交付される。受講証の写しを病理専門医試験受験申請時に提出することで、病理専門医試験受験に必要な病理解剖経験数のうち5体に充てることができる。

なお過去のハンガリー病理解剖トレーニングコース体験記は、病理学会ホームページの「会員専用情報(UMIN ID

ログイン)」に掲載されている。

問い合わせ先

日本病理学会事務局

〒113-0034

東京都文京区湯島1-2-5 聖堂前ビル7階

TEL 03-6206-9070 FAX 03-6206-9077

E-mail: jsp-admin@umin.ac.jp

6. 第68回秋期特別学術集會会長・第112回学術集會会長の募集について

第68回(令和4/2022年度)秋期特別学術集會会長ならび第112回(令和5/2023年度)学術集會会長の募集について、下記の要領により募集いたします。

参照HP:

<http://pathology.or.jp/news/whats/kaichouboshuu-191212.html>

記

1. 応募は自薦であること。
2. 応募者は、第68回秋期特別学術集會会長の場合は令和4/2022年11月1日に、また、第112回春期学術集會会長の場合は令和5/2023年4月1日にそれぞれ満65歳以下の日本病理学会学術評議員であること。
3. 応募者は、日本病理学会学術集會開催要領(別記)の趣旨を踏まえて、所定の用紙に学術集會に対する考え方、学術集會の具体的な実行計画、日本病理学会及び関連学会において近年に行った主要な学術活動等を記載すること。記入に際しては、用紙に適切に収まるよう配慮すること。
4. 応募の締切りは、令和2年2月末日(消印有効)までとすること。

なお、所定用紙の交付または本件についての質問がありましたら、本学会事務局までお問い合わせください。

日本病理学会事務局

E-mail jsp-admin@umin.ac.jp

TEL 03-6206-9070

<第68回秋期特別学術集會会長・第112回学術集會会長の応募用紙>

(上記参照HPよりダウンロードしてください)

【別記】

日本病理学会学術集會開催要領

本学術集會開催要領は、学術集會改革案(平成18年5月1日決定)の主旨に基づき、国際化への対応を含め、改めて学術集會の開催に係る要領を定めたものである。



## 「背景」

日本病理学会は「病理学に関する学理及びその応用についての研究の振興とその普及を図り、もって学術の発展と人類の福祉に寄与する」ことを目的としており、学術集会は「病理学に関わる学会員が研究発表と意見交換を通して持続的な後継者の育成をするとともに、病理学に関する最新情報の収集を行う場」として重要な役割を担っている。病理学が対象とする分野は広く、基礎研究においては様々な研究手段や技術を包含するのみならず、病理診断の精度向上は社会的要請として日本病理学会に課せられている。これら多種多様な分野の連結を図り、新たな医学と医療の発展に寄与するとともに、医療の質を担保する専門医制度の運用と会員の医療レベルの向上に努める必要がある。一方、学問・技術の進歩による研究活動の深化と拡散化、業務の拡大や専門化、支部活動の活性化、学会・研究会の増加などにより、学会員の学術集會に求めるところも変化してきている。さらに、若手病理医・研究医の育成、国際化への対応も重要な課題となっている。

## 「開催要領」

これらの日本病理学会における命題・課題をふまえ、学術集會では「学術研究活動の発表・意見交換」と「診断病理に関する最新情報の収集」を乖離することなく保証し、次に掲げる観点に添って開催する。

- (1) 病理学に関わる学会員の学術成果の発表の場を提供し、発表を通して若手研究者・病理医の育成を行う。
- (2) 蓄積された完成度の高い研究成果や中堅クラスの研究成果の発表を通して病理医・研究者を育成・刺激する。
- (3) 病理診断・専門医に関連する講習会を通じて診断精度の維持・向上と新知識の習得を保証し、病理診断医育成を図るとともに、基礎病理学的研究と診断病理学的知見を結びつける研究の推進と発表を促進する。
- (4) 世界への情報発信とアジア・オセアニア地域での病理学の中核を担うために国際化に取り組む、など。
- (5) 病理学に興味をもつ医学生を増やすため、学部学生の発表の場を準備するとともに、学部学生の参加に便宜を図る。

## 「具体的留意事項」

- (1) 春期学術集會：春期学術集會の学術プログラムが研究と病理診断などのバランスの取れた内容とするため「病理診断講習会」「分子病理診断講習会」とシンポジウム、ワークショップ、一般発表演題との重なりを少なくする。そのために病理学会の事業である「病理診断講習会」「分子病理診断講習会」については、それぞれ病理診断講習会委員会、研究推進委員会は学会長と密接な連携により、そ

の内容の充実を図る。専門医資格更新に必要な講習会を実施する。「宿題報告」は1会場で行い plenary とする。

- (2) 秋期特別総会：「学術研究賞(A演説)(7-8件)」、「症例研究賞演説(B演説)」及び「病理診断特別講演(2件)」は1会場で行い plenary とする。会長は学術委員会と密な連携をとり、「シンポジウム」、「教育講演」、「公募演題」などは、会長の裁量にて複数会場で行なうことも可とする。IAP教育セミナーなどとの効果的な連動を考慮する。アジア若手研究者を招聘し発表する場として、インターナショナルポスターセッションを開催する。
- (3) 学術集會プログラム統一性の確保：春期学術集會会長および秋期特別総会会長の立候補者は、学術集會プログラムの統一性の確保や類似プログラムの反復・乱立の回避などのため、プログラム内容や企画方針などを応募申請書に明記する。
- (4) 国際化への対応：学術集會の国際化を促進するために、英語での参加登録、インターナショナルセッションの設置、日程表の英語版の作成などに努める。
- (5) 実際の開催・運営に係る詳細な注意事項は別途定める。

平成 26 年 11 月 19 日 理事会策定

平成 27 年 3 月 17 日 同一部改定

平成 28 年 3 月 25 日 同一部改定

平成 29 年 12 月 1 日 常任理事会一部改定

## 7. 第 66 回秋期特別総会の HP 公開

日程：2020 年 11 月 12 日（木）～ 13 日（金）

会場：アクトシティ浜松 中ホール

会長：浜松医科大学医学部腫瘍病理学講座 相村春彦

HP：<http://www.gakkai.co.jp/jsp66/index.html>